

要 旨

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : トリポリリン酸二水素アルミニウムのオオミジンコ
(*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A010480-2

試 験 結 果 :

被験物質（トリポリリン酸二水素アルミニウム）は水に難溶であるが、僅かに溶解して、①三リン酸（トリポリリン酸）、②二リン酸（ピロリン酸）および③一リン酸（オルトリン酸）などが主として解離する。これらを分析測定対象として、被験物質の水溶解度を算出した結果、3.11mg/L（精製水、20℃、48 時間攪拌、IC 分析）となった（①～③の合計濃度より算出）。

しかし、飼育水（希釈水）である Elendt M4 への被験物質の溶解度は、検出限界（0.052mg/L）以下であり、かつ、被験物質は生態毒性の弱い助剤（メタノール、DMF、DMSO およびアセトンなど）に対しても難溶性なため、溶解または均一分散させた試験液を調製することは極めて困難であると判断した。

したがって、使用する希釈水中での溶解度が不明で、溶解度以下での被験物質濃度の確認が正しく行えないため、通常の条件下でのオオミジンコへの急性遊泳阻害試験は実施できないと判断した。

なお、試験条件、分析条件等さらなる改良を行えば試験を実施する可能性は否定できないが、極低濃度での実施であり、時間と労力を要するものと思われる。